



勝間田川をきれいな川にするためにゴミを拾う中学生

きれいな川で花見を楽しむために

■勝間田川くり～ん作戦

勝間田川くり～ん作戦が3月8日に行われ、榛原中3年生約80人をはじめ、たくさんの地域住民などが参加しました。

桜並木の花見客でにぎわう勝間田川をきれいにしようと、地域住民らが主催。参加者は、勝間田川に架かる竹橋から後川橋までの約2kmの区間で、土手に捨てられた空き缶やビニール袋などを拾い上げました。2時間ほどの作業で、トラック2台分のごみが集められ、花見時期を前にきれいな川になりました。

1年間の努力をたたえる

■牧之原市教育委員会表彰式・教育文化振興賞表彰式

学業や文化活動、スポーツなどで優れた成績を挙げた児童生徒などをたたえる、「教育委員会表彰式」と山崎こども教育振興財団主催の「教育文化振興賞表彰式」が3月8日、い～らで開かれました。

教育委員会表彰を受賞したのは、各分野で県大会1位同等以上の成績を挙げた25個人、4団体。さらに、bjリーグジュニアユースバスケットボールカップで優勝した榛原中学男子バスケットボール部など全国レベルで好成績を収めた6個人、1団体には、「青少年ノーベル賞」も贈られました。



坪池洋教育長から教育委員会表彰を受ける受賞者

大きくなって豊かな海岸防潮林に

■いのちを守る森づくり「植樹祭」

いのちを守る森づくり「植樹祭」が3月23日、勝間田川水門付近の保安林で行われました。

津波や潮風、飛砂から宅地や農地などを守る海岸防潮林を整備するために、掛川市のNPO法人「時ノ寿の森クラブ(松浦成夫理事長)」が主催。植えられた苗木は、タブノキやスタジイ、ヤマモモなど14種類約3,000本。地域住民や企業関係者など参加者約400人は、水門付近の土を盛った丘に自分たちの手で植樹をして、苗木の成長を願いました。30年ほどで豊かな防潮林に育つ見込みです。



「早く大きくなって」と自分たちの手で苗木を植える参加者



西原市長に寄付金を手渡す児童代表

市の防災のために役立てて

■児童が市に10万円を寄付／細江小

細江小の児童らは3月14日、同校で行われた増築校舎の完成を祝う会の中で、市に10万円を寄付しました。

寄付金は、感謝の気持ちを伝えようと、児童らがアルミ缶や雑紙を集めて貯めたお金で、会の最後に代表の児童が、「市の防災のために役立ててください」と西原市長に寄付しました。児童からの突然の贈呈に、市長は、「素晴らしい気持ちがありがとう。大切にに使わせていただきます」と受け取りました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



別会場のハウスで手摘みを体験し、一足早く新茶の香りに触れる参加者

おいしい新茶を届けます

■牧之原新茶まつり・新茶祈願祭

牧之原新茶まつり・新茶祈願祭が3月16日、ハイナン農業共同組合茶業センター茶ぐりん牧之原で開かれました。

良質茶の生産や緑茶ファン拡大などを目的に活動している「ティーファーム牧之原」やハイナン農業協同組合などが毎年実施。新茶の手もみ体験や茶の天ぷら試食、ブランド茶「望」を宣伝する「nozomiガール NEd」の結成1周年記念ライブなどが行われ、会場は多くの家族連れなどでにぎわいました。

新茶まつりに先立ち行われた新茶祈願祭では、茶業関係者約50人が出席し、静岡牧之原茶での乾杯の後、「エイ、エイ、オー!」と氣勢を上げ、おいしい新茶の生産を願いました。

信頼してもらえる看護師を目指して

■静岡県中部看護専門学校卒業式

焼津市にある中部看護専門学校の卒業式が3月8日、講堂で行われ、42人が学び舎を巣立ちました。

原宏介校長は、「健康に注意し、コミュニケーション豊かな思いやりのある看護師になってください」と卒業生に、はなむけの言葉を送りました。

本市の井上歩美さん(静波)も卒業を迎え、「先輩たちを見習いながら成長して、皆さんに信頼してもらえる看護師になりたい」と抱負を話してくれました。井上さんをはじめ7人の卒業生が、榛原総合病院で看護師として働き始めています。



榛原総合病院に看護師として就職した井上さん



避難階段を使って細江小の校舎屋上に避難する地域住民

いつでも素早く避難

■夜間津波避難訓練

津波に対する意識を高め、いつでも素早く避難することができるように、市では3月6日に夜間津波避難訓練を行いました。

津波浸水区域の住民約2万3千人のうち、約7千人が参加。訓練は、南海トラフ巨大地震の発生に伴い、最大で震度7の揺れを観測し、沿岸部に大津波警報が発表されたという想定。細江小では、午後7時15分に津波警報が出されると、懐中電灯を持った市民約100人が集まり、2月に完成した避難階段を利用して、急いで校舎屋上に避難しました。